

民医連調査

生きるための支援緊急に

コロナ禍経済困窮で命と健康危機

コロナ禍による経済困窮の広がりが命と健康を脅かしています。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)がこのほど発表した「コロナ禍を起因とした困窮事例調査」の結果(10月31日付、既報)は、深刻な実態を示しています。

事例別(重複回答可)

「受診控え」とする事例は86件に上りました。「所持金わずか」は157件、生活保護の水

際作戦とみられる事例も15件ありました。調査報告は「非正規雇

用層は、相談時点で所持金わずかという事例が多

く、生活保護などの必要な支援が得られていない事例も少なくない」としています。

「保険料の滞納で手元に保険証がないケース(資格証明書、無保険)も多く、受診控えにつながる。一症状が悪化してから受診、緊急搬送される事例がある」「行政に相談に行っても、生活保護などの必要な支援が得られていない事例も少なくない」としています。

会見で全日本民医連の岸本啓介事務局長は「雇

用と生活の破壊は深刻」「生きるための支援を(政府には)緊急にお願いしたい」と発言。▽生活保護申請を簡素化し、ためらわずに利用できる制度にする▽高すぎる国民健康保険料を引き下げる▽在日外国人の医療に対する▽在日外国人の医療について国や自治体が責任を持って検討する―ことなどを求めました。

報告事例

全日本民医連は7月20日

から調査を実施。全国の民医連加盟の事業所がかかわった事例や生活相談に寄せられた事例のうち、コロナ禍に起因する困窮事例435件を分析しました。

職業別では非正規労働者が35%と最多に(グラフ参照)。年齢別では50代が29%、60代が19・8%、40代が19・5%とつ

づき、20代も5・3%いました。家族構成は独居が45%と圧倒的多数に。

【50代女性】3年前まで医療職だったが業務中に腰を痛め退職。同居していた母の年金で暮らしていたが、今年から母は施設へ。本人の年金型保険があるがわずかで食費も出せない。コロナ禍で仕事がなく、腰痛も悪化。相談時の所持金は200円。携帯電話もなく連絡は公衆電話から。相談できる人は誰もいない。

【50代女性】すでに無料低額診療を利用していましたが、派遣の仕事が激減し収入がほぼない。家賃や公共料金、日々の生活費もままならず、生活保護を申請。

「体調悪い」妻も高血圧

【50代男性】妻と2人暮らし。仕事もアルバイトもなくなり、相談会に来て支援物資を持ち帰る。3度目の相談会で「実は体調が悪い」と話

【60代男性】パートで母と2人暮らし。飲食店に勤めるもコロナ禍で失業し、母の年金と貯金で生活。母は認知症でショートステイを利用中。本人が動けなくなり糞(ふん)尿まみれの状態で発見され救急搬送された。

【20代男性】商業施設で倒れているところを発見され救急搬送される。めまい、低栄養、咽頭痛。父子世帯で中学卒業後に就職。直近3カ月は運送業でアルバイトをするも、コロナ禍で仕事が激減し失業状態に。生活困窮の父との関係も悪化し、帰る所がない。所持金が尽き、1週間ほど公園で寝て、食事もとって

食費出せず腰痛も悪化

【50代女性】3年前まで医療職だったが業務中に腰を痛め退職。同居していた母の年金で暮らしていたが、今年から母は施設へ。本人の年金型保険があるがわずかで食費も出せない。コロナ禍で仕事がなく、腰痛も悪化。相談時の所持金は200円。携帯電話もなく連絡は公衆電話から。相談できる人は誰もいない。

日々生活費 ままならず

【50代女性】すでに無料低額診療を利用していましたが、派遣の仕事が激減し収入がほぼない。家賃や公共料金、日々の生活費もままならず、生活保護を申請。

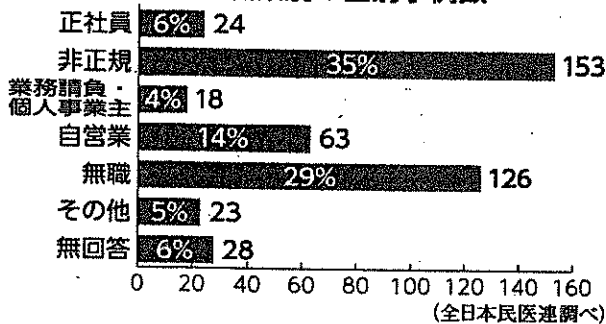
【60代男性】パートで母と2人暮らし。飲食店に勤めるもコロナ禍で失業し、母の年金と貯金で生活。母は認知症でショートステイを利用中。本人が動けなくなり糞(ふん)尿まみれの状態で発見され救急搬送された。

【20代男性】商業施設で倒れているところを発見され救急搬送される。めまい、低栄養、咽頭痛。父子世帯で中学卒業後に就職。直近3カ月は運送業でアルバイトをするも、コロナ禍で仕事が激減し失業状態に。生活困窮の父との関係も悪化し、帰る所がない。所持金が尽き、1週間ほど公園で寝て、食事もとって

公園で寝る 食べてない

【20代男性】商業施設で倒れているところを発見され救急搬送される。めまい、低栄養、咽頭痛。父子世帯で中学卒業後に就職。直近3カ月は運送業でアルバイトをするも、コロナ禍で仕事が激減し失業状態に。生活困窮の父との関係も悪化し、帰る所がない。所持金が尽き、1週間ほど公園で寝て、食事もとって

職業別の困窮事例数



(全日本民医連調べ)